



楠隼中学校・高校だより

全国から生徒が集う全寮制中高一貫教育校

中学校

農業漁業民泊体験

10月24日から25日にかけて、中学1年生が農業漁業民泊体験を行いました。肝付町内外の17のご家庭が生徒を受け入れてくださり、みかんの収穫やけん団子作り、ピザやお菓子作りに釣り体験など、生徒は、本当にたくさん体験をすることができました。

初めて受け入れ先家庭の方々にお会いした入村式では、緊張が見られる生徒もいましたが、一緒に食事をしながら、いろいろな体験をして、退村式を迎える頃にはすっかりと打ち解けた姿を見ることができました。

生徒からは、「食事を作ってみて、一生懸命作ってくれる人がいるから日頃僕たちはおいしいご飯を食べることができていることを実感した。これからは、これまで以上に思いを込めて『いただきます』を言いたい。」や、「高校生になったときにはもっと手伝えるようになりたい。次会えるのを楽しみに成長していきたい。」など、この民泊体験を通してたくさん「思い」を受け取ったようです。頼もしく成長した姿を見ることができました。高校1年生でも農業漁業民泊体験を行います。3年後にまた同じご家庭にお世話になる生徒もいるかもしれません。生徒もその時を楽しみにしています。



高校

ダルマの目入れ式

10月11日、大学入試共通テストまであと99日のこの日に、合格を祈願してダルマに目を書き入れる決意の儀式が行われました。校長先生から激励の言葉を頂いた後、各クラスの代表生徒から決意表明をしました。（1組・小村さん、2組・長友さん、3組・東さん）最後は、保護者代表の方から激励があり、3年生も気持ちを引き締めた様子でした。

【長友さんの決意表明】

時計は短針と長針がある。その長針と短針は、1時間に1回は重なるようにできていく。しかし、11時台だけは重ならない。その次に重なるのは12時だ。12時というのは鐘が鳴る時間で、私たち受験生にとって合格の鐘とも言えるかもしれない。僕たち受験生は、今人生で考える11時台にいたいと思う。志望校の判定が悪かったり、校内の順位が悪かったりして、落ち込むこともあるかもしれないが、報われる時間は来るので、みんなで切磋琢磨しながら頑張ろう。

